科目名称：	基礎教養Ⅰ（幼児教育学科）	
担当者名：	幼児教育学科１年生、２年生担任	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1

授業の目的・テーマ

初年次教育「KINJOベーシック」として位置づけられています。受動的な学びを「主体的な学び」に転換できるよう、おもに「アクティブラーニング」の手法を使っていること、「学外活動」への参加を前提としていること、２年生と学び合う「チュートリアル」を組み込んでいることが大きな特徴です。グループワークなどを通して人間関係を広げ、いろいろな思いや考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「書く」「発表する」演習を重ねていきます。コミュニケーション力を高め、自ら考え、自ら学ぶ意識が育つこと、さらに、情報リテラシーを含め、社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を伸ばしていくことを目的としています。そのため、「体育祭」等の課外行事で他者と協力することも積極的に奨めます。

授業の達成目標・到達目標

・文献検索方法やメモの取り方など、自ら問題解決するための知識・情報を収集できる。
・レポートなどで、知識や思考を可視化・文章化し、他者にわかりやすく説明できる。
・プレゼンテーションに必要な基礎的な技術を習得し、実践に向け役立てる。
・継続的な生活習慣、学修習慣を身に付ける。

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
全学DP(1)	60		30	10	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》	《経験年数１》
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
事前学修（特に「学外活動」及びレポート）	期待以上の主体的な事前学修に取り組んでいる。	全ての事前学修に取り組んでいる。	ほぼ事前学修に取り組んでいる。	事前学修を全くしていない。
文書の分かりやすさ・見やすさ・量	期待以上の文書が作成できる。	分かりやすくかつ見やすい文書を作成できる。	分かりやすい文書を作成できる。	分かりやすい文書を作成できない。量が少ない。
自分の考えの伝え方（グループワークなど）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。活動にあまり参加していない。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回	大学での学び方① 建学の精神・教育理念・学習成果	「Campus Guide」幼児教育学科の部分を読んでおく。	20分
第２回	大学での学び方② 金城短大を知る（2年生リーダーとのチュートリアル）	「Campus Guide」１ページ目を読んでおく。	20分
第３回	大学での学び方③ 人間関係づくり１	人間関係づくりからの学びをまとめる。（小レポート）	20分
第４回	大学での学び方④　人間関係づくり２（グループワーク）	人間関係づくりからの学びをまとめる。（小レポート）	20分
第５回	大学での学び方⑤　　情報リテラシー	事前に配布する資料に目を通しておく。	20分
第６回	大学での学び方⑥　アクティブラーニングの基本（グループワーク）	アクティブラーニングの基本からの学びをまとめる。（小レポート）	15分
第７回	主体的な学びのすすめ① マナーを知る	必要なマナーについて、事前に考えておく	20分
第８回	主体的な学びのすすめ② 「課外活動」の意味（グループワーク）	「課外活動」に１回以上参加し、1週間以内にレポートを作成し担任に提出する。	10分
第９回	主体的な学びのすすめ③ 図書館を活用する	事前に配布する資料に目を通しておく。	10分
第10回	主体的な学びのすすめ④ 保育教材をつくる意味（２年生とのチュートリアル）（グループワーク）	チュートリアルからの学びをまとめる。（小レポート）	10分
第11回	主体的な学びのすすめ⑤「美化」を意識し習慣にするには　実践	美化について、事前に考えておく。	20分
第12回	主体的な学びのすすめ⑥ 保育教材をつくる意味（２年生とのチュートリアル）（グループワーク）	事前に配布する資料に目を通しておく。	60分
第13回	主体的な学びのすすめ⑦ 造形の基礎知識 絵の具類・筆・筆洗・混色(電子黒板使用)	事前に配布する資料に目を通しておく。	60分～
第14回	いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」テーマ：学長講話を受けて	学んだ内容をまとめる。	10分
第15回	いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発表する」テーマ：「学外活動」からの学び(グループワーク、プレゼンテーション）≪ファイルの整理≫	「課外活動」の小レポートに目を通しておく。	15分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 60%で評価する。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への積極的関与10%、提出課題（「学外活動」レポート）30%

課題に対してのフィードバック

小レポートの記述内容などを担任チームで共有・検討し、次回以降の授業でフィードバックしていく。

教科書・参考書

『KINJO Campus Guide』、必要に応じてプリントを配付する。